

・本仕様の中で選択式の項目は、■を採用して □は採用しない。 ■であっても上位の項目が□の場合は採用しない。 1. 構造概要 ・建設場所 ・工事種別 ・建物用途 ・階数規模 ・屋上荷重 ・特殊荷重 ・増築計画 ・外的条件 ・耐震安全基準 ・令第129条の2の4の事項 2. 地盤・地業 ・地盤調査資料 ・地盤許容支持力 ・支持層位置 ・調査水位 ・基礎支持形式 ・地業材料 ・残土処分		3. 鉄筋コンクリート基礎工事 (1) コンクリート ・使用材料 ・強度補正 ・型 枠 ・品質管理 (2) 鉄 筋 ・使用材料 ・品質管理	4. 鉄骨躯体工事 (1) 使用材料 ・鋼 材 ・ブレース ・ボルトセット ・デッキプレート ・表面処理 ・材料の品質管理
--	--	---	--

- ・壁付床版の補強

- ・壁の定着および
継手長さ等

- ・ 壁の交差部および端部の鉄筋

- ・ 壁の交差部および端部の鉄筋

- ・ 壁の交差部および端部の鉄筋

- ・ 壁の交差部および端部の鉄筋

- ・かぶり厚さ

- ・かぶり厚さ

- ・鉄筋のあき

・鉄筋のあき

3.あと施工アンカー工事（接着系）

3.あと施工アンカー工事（接着系）

- ### 3.あと施工アンカー工事（接着系）

3.あと施工アンカー工事（接着系）

- ・かぶり厚さ

- ・かぶり厚さ

- ・鉄筋のあき

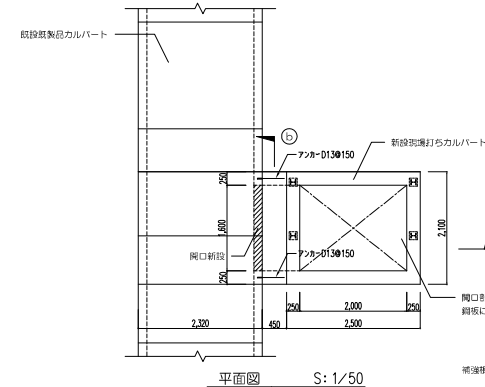
・鉄筋のあき

3.あと施工アンカー工事（接着系）

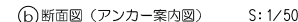
- ### 3.あと施工アンカー工事（接着系）

[illegible]

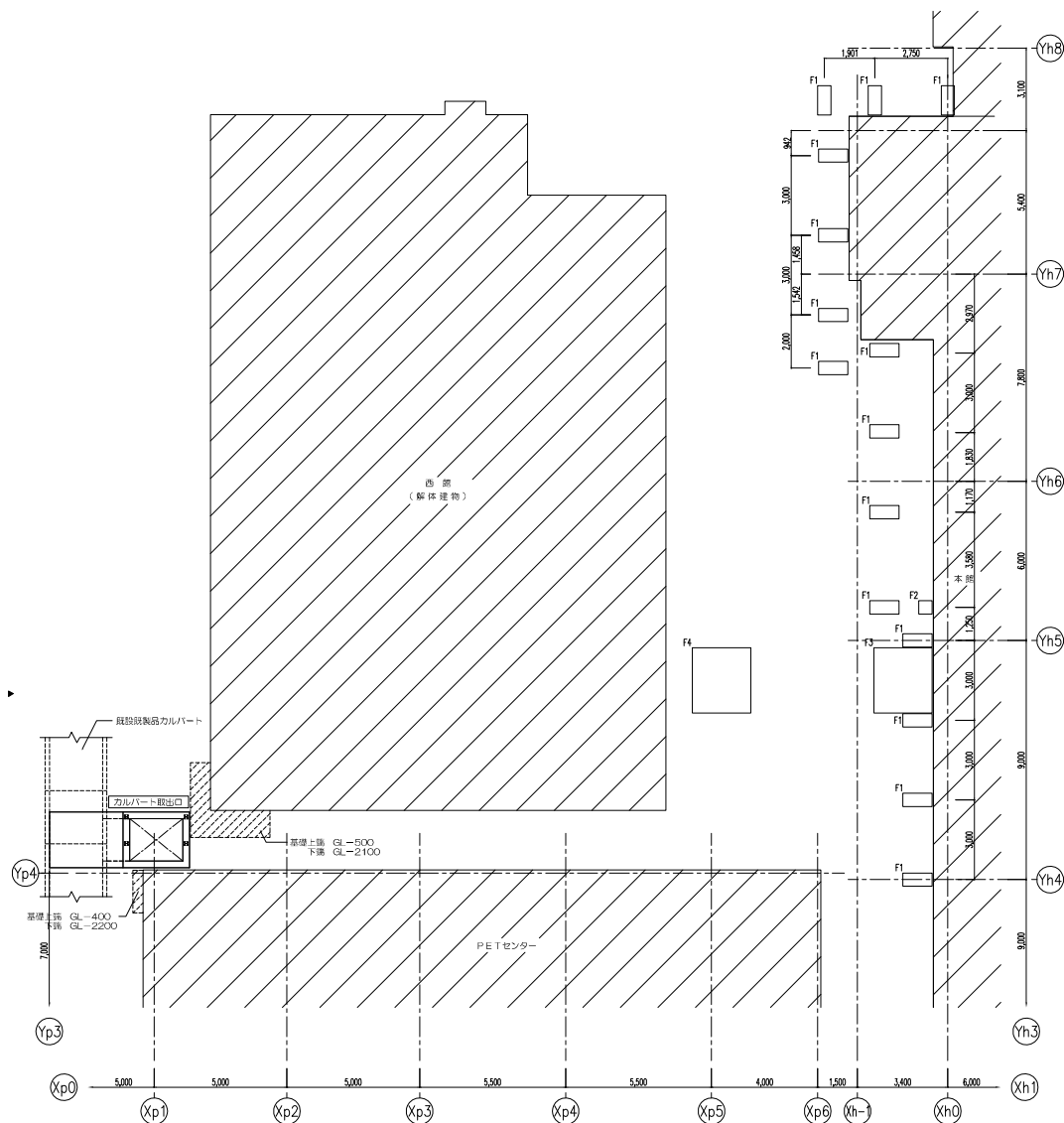
アンカー筋の有効埋め込み長さは $7d$ とし、埋め込み長さは、 $8d$ とする



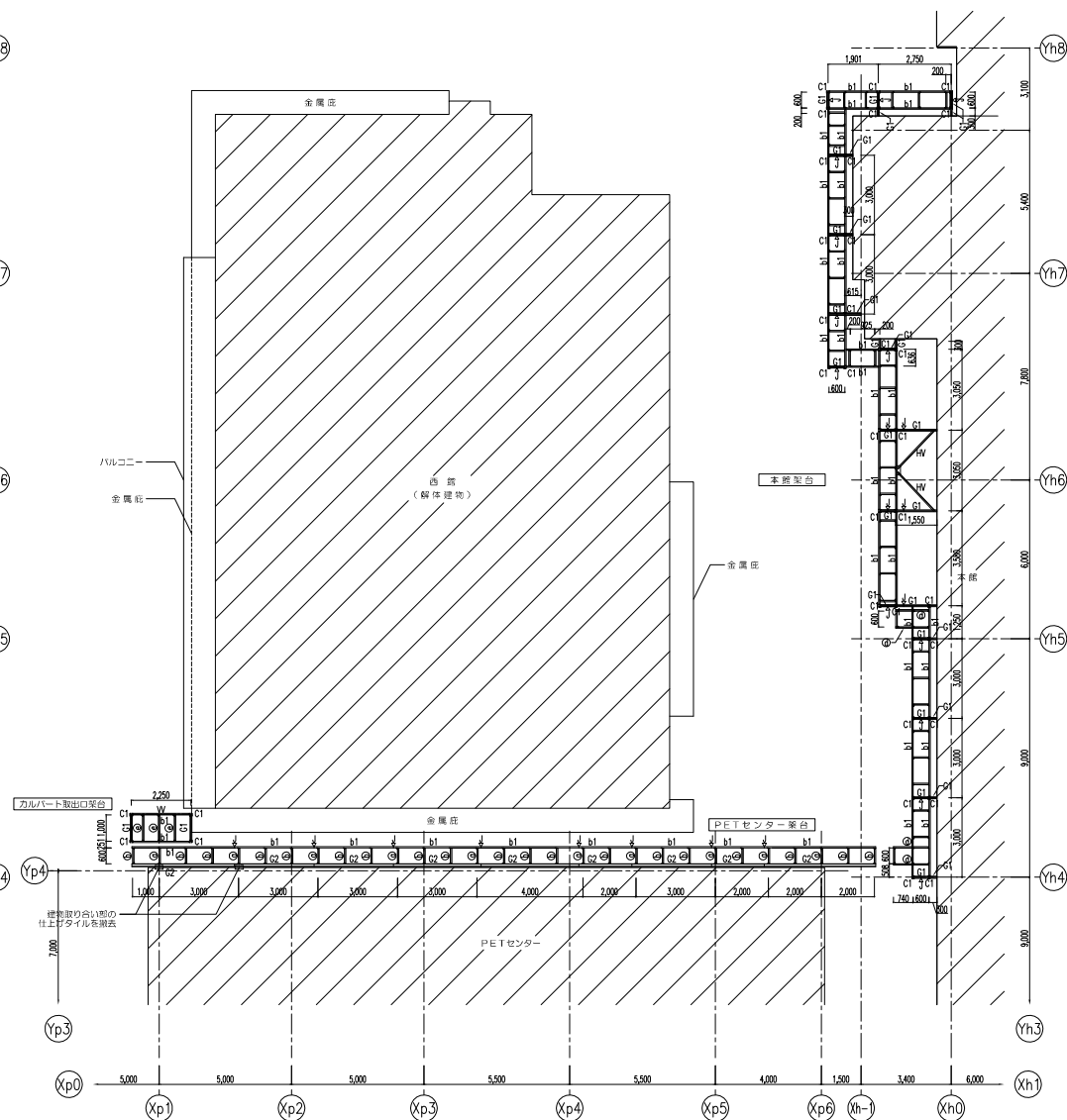
カルパート取出口詳細図



- ・開口新設時に、残置されるカルバート躯体に損傷を与えない様にする事。
- ・既設既製品カルバートの新設開口切断面には防錆処理を行う事。
- ・既設既製品カルバートと新設現場打ちカルバートの接続面は、既設既製品カルバート上面を除き目荒しを行う事。

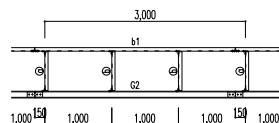


基礎伏図 S: 1/100

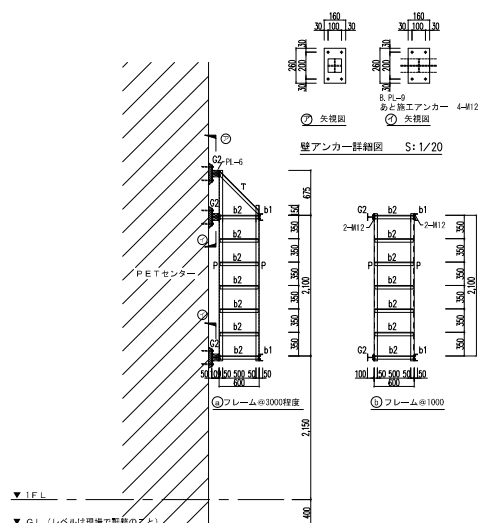


架台伏図 S: 1/100

特記なき限り下記とする
 1) フレーム符号: (○) (●) (□) (◇) (△) はフレームを示す
 2) ♯はJOINT位置を示す
 3) 壁面仕様
 FEセンター: 吹付ケタイル、一部タイル (RC壁)
 本館: タイル (PCe壁)
 ※ 詳細寸法は現場にて微調整する



PETセンター架台詳細図



PETセンター架台軸組図 S: 1/40

b1, G2 ジョイント詳細図



b1 ジョイント詳細図 S: 1/20

G2 ジョイント詳細図 S: 1/20

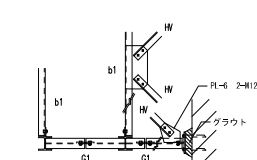
鉄骨部材リスト

2. ボルト：中ボルト

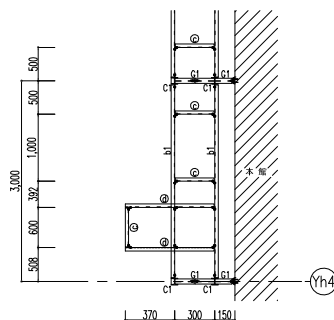
符号	断面	接合部	備考
C1	H-100x100x6x8	PL-12 4-M12	
G1	H-150x75x5x7	PL-6 2-M12	
G2	H-100x100x6x8	2PL-6 2-M12	
P	L-50x50x6	2-M12	
b1	[-100x50x5x7.5	PL-6 2-M12	
b2	L-50x50x6	2-M12	
T	L-50x50x6	2-M12	
HV	L-50x50x6	PL-6 2-M12	
VV	1-M12 (ターニッック用)	PL-6 1-M16	



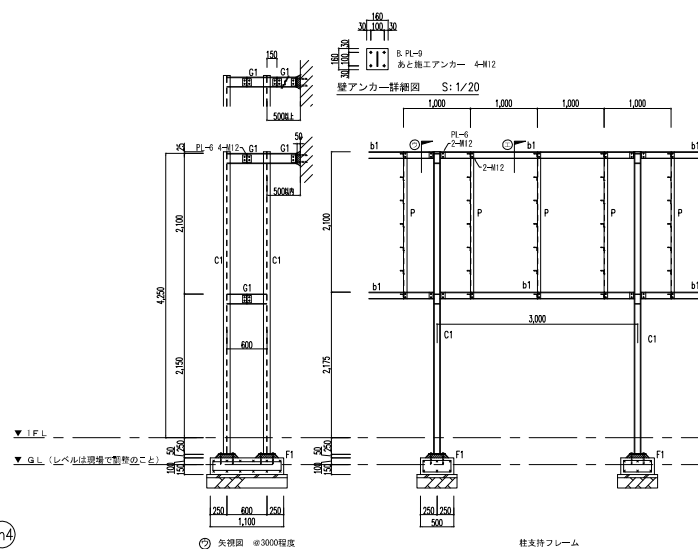
※ 詳細寸法は現場にて調整とする



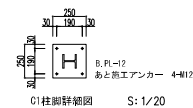
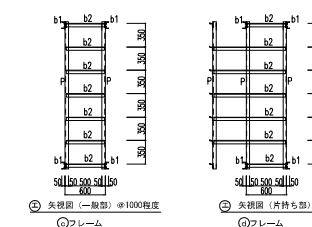
水平ブレース取り合い図 S: 1/20



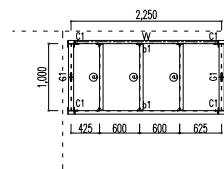
本館架台詳細図



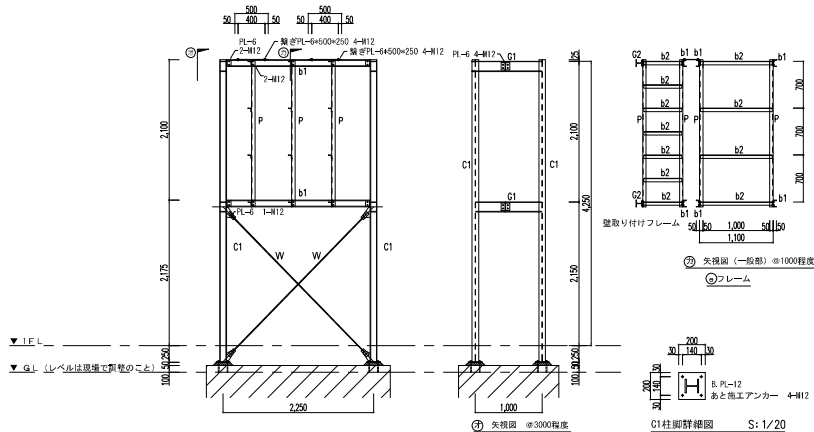
本館架台軸組図 S: 1/40



カルバート取出口架台詳細図



カルバート取出口架台詳細図 S: 1/40



カルバート取出口架台軸組図

東京都品川区上大崎 2-25-2 株式会社 横河建築設計事務所 一級建築士登録 第234998号 構造設計一級建築士 第3462号	東京都品川区上大崎 2-25-2 株式会社 横河建築設計事務所 一級建築士登録 第300269号 構造設計一級建築士 第3309号
岡部 恒久	山田 高志

東京都品川区上大崎 2-25-2
株式会社 横河建築設計事務所
一級建築士登録 第300269号
構造設計一級建築士 第3309号

平成26年度静岡県立総合病院（仮称）新放射線治療・手術棟周辺整備工事

架台詳細圖

A1:1/20, 40
A3:1/40, 80